



支部長  
石原 脩 (15回生)



執筆者  
平賀 順子 (30回生)



森田 学先生歓迎会

大阪大学歯学部創立50周年おめでとうございます。

全国で最北支部の北海道支部も、この一年で2名の会員増があり、会員数は7名となり今までで最多となりました。北海道出身の卒業生が非常に少ないこと、道外出身の先生方は離職後は関西の方へ帰られることがほとんどで、支部は常に数名の会員でありました。少人数ですので、支部会は全員出席が原則で、非常に親しく語り、先輩の先生方は温かく後輩を迎え入れ、励まし、よく面倒をみてくれるといった家族的な集まりで、小さいながらも強い団結力を持ってきました。

北海道での活動は札幌医科大学に赴任された先生方の集まりがその始まりと書いております。札幌医科大学に勤務されておられた先生方として、故西鷹二先生(S10年入)、千野武廣先生(4回生)、阪尾信義先生(9回生)、田中俊彦先生(9回生)がいらっしゃいました。堀井常彰先生(13回生)はその頃より現在に至るまで、北海道支部を支えてこられた先生で、現在は北海道矯正歯科学会の会長のほか、歯科分野以外でも要職を担われています。

また、北海道大学に三木敬一先生(S22年入)、加藤一郎先生(5回生)が赴任され、続いて、現支部長の石原脩先生(15回生)も勤務されるようになりました。三木先生は学部長を務められた後、故郷へ戻られました。石原先生は札幌の中心、薄野の近くで開業され、現在まで歯科臨床一筋に取り組んでおられます。鈴木智加良先生(17回生)も開業医として一時、札幌におられたことがあります。

その後、平賀順子(30回生)が北海道大学を経て、札幌で矯正専門で開業しました。若手の先生方として、小林美智代先生(40回生)は現在、北海道医療大学口腔衛生学教室の講師として、糸坂直志先生(40回生)は冬はダイヤモンドダストの見られる旭川市で開業医として活躍されています。

さらに、現北海道大学教授の中村太保先生は昭和53年から61年まで大阪大学歯学部放射線学教室に在籍され、測端名誉教授のもとで学位を取られたという経緯より特別に支部に加わってくださっています。

そして、平成12年に、北海道医療大学口腔生理学講座に姜英男先生(24回生)が、北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座(予防歯科)に森田学先生(29回生)が教授として赴任され、一年に2名の嬉しい会員増がありました。お二人の先生方は初めての北国での単身生活で、内外ともに環境もずいぶん変わったことと思いますが、ますますのご活躍に期待しています。

以上、北海道支部は小さいながらも、各人がそれぞれに大阪より遠く離れた地で寒さと雪と戦いつつ(これは私を含めて道外出身者だけの話ですが)、歯科医として、また大阪大学卒業生としてがんばっております。会員の皆様には、来道の折りは是非お声をかけてください。美味しい北の幸で歓迎させていただきます。